浪速松楓会で、見る・知る・考える

# るるる

Vol. 05

2020. April

今号の表紙 寿幸苑6階

PICK UP

1 ここにある暮らし - 寿幸苑6階フロア -

2 わたしが憧れている先輩のはなし

HELLO! NEW STAFF
鯉谷さんのひとりごと

# 寿幸苑6階フロア

## ここにある暮らし

ショートステイご利用の皆巳さんと久しぶりの再会。思わず歓喜の笑顔に。

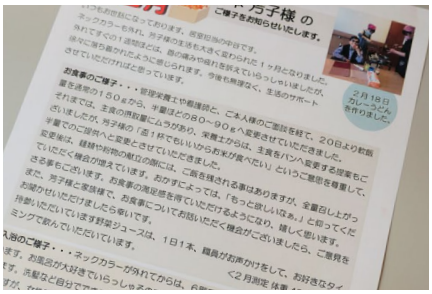
**フロアの半分でショートステイを受け入れる6階。たくさんの出会いと別れがある現場にも、ご利用者さんに寄り添う職員の姿がありました。**

毎週来てくれる方も、月数回来てくれる方も、初めましての方も。いろいろなご利用者さんを迎え入れ、ケアに携わる6階。日々変化がある現場に入職して1年ほどが経つ中谷さんは、居室担当を任されて以来「どうしたらより快適に過ごしてもらえるか」を考えるようになったと言います。自宅と同じようにくつろいでもらいたいとの思いから、無機質だった居室に写真を飾ったり、好きなものを探して工夫したり。今担当している芳子さんは「子どもの話をすると喜んでくれる」と分かり、家族の話をよくするそうです。「子育てのアドバイスをくれたり、私や家族の健康面を心配してくれることもあって。本当に、嬉しいことですよね」（中谷さん）。高校卒業後に入職し、6階へ配属された西川さんは「小学生の頃から祖父母と暮らしていて、おじいちゃんやおばあちゃんの話を聞くのが好きでした。施設の暮らしの中で、どれだけ日々を楽しく過ごしてもらえるか考えます」。控えめな性格ながら、食レクを企画したり、担当している西島さんの誕生日に他の職員と歌ってお祝いしたりしたそうです。勤続10年超の白木さんは「一人で過ごされている方には話しかけるようにしています。いろんな施設がある中でご縁があった方たちなので、できるだけ笑顔で過ごせるようにしたいですね」と話してくれました。

リーダー
山口さん

職員一人ひとりがご利用者さんにあった介護を考え工夫しています。ご自宅とショートステイは延長線上にあると考えているので、ご自宅でされていることと同じことを施設でもして頂けるように心がけています。

**寿幸苑6階**
特別養護老人ホーム
住所：大阪市生野区林寺4-13-14-6F／従業員数：14名



好評の報告書は各職員オリジナル

優しく丁寧な仕事で人気のハナちゃん

### るるる日誌 －日々のできごと－

週末

ショートステイご利用の皆巳さんが到着。柔らかな職員の笑顔や雰囲気に溶け込み、フロアで過ごす日常の顔に。この日は音楽クラブがあり、合唱にも参加しました。

2/18

西川CW企画のレクで、職員お手製カレーうどんが昼食に。「ご利用者さんに喜んでほしいから、やってあげたいことが尽きない」といろいろ考えては企画しているそうです。

3/19

職員の個性や「やりたい気持ち」を大切にする6階。この日は新卒1年目の岡橋CWが得意の木工スキルを活かして留学生の家の表札を作ってくれました。

# わたしが憧れている先輩のはなし

**日々いろいろある現場で、どんな時も頼りになる先輩たち。**
**その背中を見ながら少しずつ成長してきたフレッシュな若手有望株による、**
**心に残るエピソードと思い出の話。**

聞いた人：サボテンの花、ライフェル駒川、寿幸苑の若手職員

奥野 安奈さん
（サボテンの花３階）

【 Profile 】
高校卒業後、当法人に入職。グループホーム サボテンの花へ配属され、２階・３階で勤務。穏やかな人柄が人気で、すでに勤続５年目。

## 野川さん／いつか、こういう人になりたいなって

ある入居者さんの救急搬送が急に決まった時、各職員に「どう動いたら良いか」を的確に指示されていて。全体を見て動かせる力を本当にスゴイな、と思いました。あと、忙しい時間帯に焦って仕事をしていると入居者さんに伝わってしまうけど、野川さんはそういう所が全くない。仕事は早いけど丁寧で、「いつかできるようになるから、まずはきちんとすること。速さは後からついてくるよ」って。高校卒業後、何も知らない時から教えてもらって、いつかこういう人になりたいって思いました。

食レクもテキパキ進める野川さん

### コメントいただきました

奥野さんは、声かけがとにかく上手。認知症の方に寄り添えていて、隣にいると自然とその方が落ち着くような所があって。食レクをする時は家で予行演習をしてきたり、まじめな所も良いなと思っています。これからも穏やかで優しい奥野さんで頑張って下さい。

【Profile】
野川 由美さん。さりげなく周りをサポートしてくれるGH ２階のケアマネージャー。

---

西 常夫さん
（ライフェル駒川２階～６階）

【 Profile 】
居酒屋さんなどで勤務した後、当法人に転職。ライフェル駒川へ配属され、接客業で培った爽やかな笑顔で入居者さんに接している。

## 宮川さん／満足度を高める気配りがスゴイ！

入居者さんのことを思って、「どうしたら一番喜ばれるか」を意識して行動できる所がスゴイと思っています。食欲が落ち込んでいる入居者さんの様子を察知すると、補食としてビタミンゼリーやカロリーメイトを提案されたり、温かい飲み物はいかがですかって勧められたり。「この方はホットタオルで背中を拭いてあげると喜ばれるよ」って教えてくれたりもします。その気配りに憧れて、僕も介助に入る時、その方の様子を見ながら飲み物を勧めたりするようになりました。できるところから頑張りたいと思っています。

脳トレに付き添う宮川さん

### コメントいただきました

西くんは向上心があって、少しでも分からないことがあるとすぐに確認しに来てくれます。依頼したことも、漏れがないようにその場でメモをとり、必ず結果の報告もしてくれます。入居者さんやほかの職員にも丁寧な姿勢で、仕事に対する誠意もあり、信頼できるスタッフの一人です。

【Profile】
宮川 由香さん。明るく優しいライフェル駒川（7～11階）のサービス提供責任者。

---

北村 亜莉沙さん
（寿幸苑４階）

【 Profile 】
高校２年・３年の時に寿幸苑で実習を受け、卒業後に当法人へ入職。４階フロアへ配属後、ダンスや料理、ほか多数のレクでも活躍。

## 高山さん／人柄や姿勢、学びたい所がたくさん

時間配分を考えてぱっぱと業務をこなしたり、初めてお会いした方とも自然に会話ができたり。同じフロアで勤務している木下さんとも絶妙な関係性で、信頼し合っていて。素敵だなと思っています。あと、興奮している入居者さんについて「関わりすぎるとヒートアップすることがある。適度な距離で見守りする方がクールダウンしたりする」って教わって。実習生の頃から、いろいろ教えてもらっています。私も人見知りをせずに、お会いした方ともっと深く関われるようになりたいです。

春レクの成果を一緒に見る高山さん

### コメントいただきました

北村さんは、初めて会った実習生の頃よりずっと成長しました。入居者さんと深く関われるようになったし、関係性も築けている。食事介助やおむつ交換も自分で気が付き、進んでしてくれる。動き方が変わったこと、なにより楽しそうに仕事をしていることが、とても嬉しいです。

【Profile】
高山 秀子さん。フロアを温かく見守る、寿幸苑４階のお母さん的存在。

# TOPICS

各事業所で、ときには外にとびだして、最近行なわれた さまざまな活動を紹介します。

## 1 抹茶と和菓子で、和なバレンタイン

日時：2月13日（木）　場所：ライフェル駒川

月に一度コミュニティスペース「イマ」で開催されるお茶会。今回はハート模様があしらわれたお饅頭もあり、和なバレンタイン仕様に。イマの常連さんも「ふだん抹茶はあまり頂かないから嬉しい」とじっくり味わって楽しんでいました。

## 2 1階にお雛様がお目見え

日時：2月20日（木）～　場所：寿幸苑

今年も事務所の有志メンバーが力を合わせ、エントランスホールにひな人形を飾りました。新型コロナウイルスの影響でご家族やボランティアさんの来苑が制限されている中、入居者さんにとってささやかな楽しみの種になりました。

## 3 あったかお鍋で滋養をつけて

日時：2月27日（木）　場所：サボテンの花

寒い日が続く中、食レクとしてお鍋を作ったグループホーム2階。「自分で食べやすいように」と、それぞれが持ちやすいサイズのお椀を配膳されていました。最後はシメの雑炊。みなさん自分のペースで美味しく食べていました。

## 4 Re-Lo、1日子ども食堂を開店

日時：3月12日（木）　場所：てんぷらー

地域の人との交流活動に励むチームRe-Lo（Re-Lo）。新型コロナウイルスの影響で休校になり、お昼ごはんに困っている子どもたちのために急遽企画！当日は近所の小学生や地域の方などたくさんの方が来てくれました。

## Hello! NEW STAFF

ケアワーカー
**福島 恵美佳**さん
（寿幸苑）

生活相談員
**山本 勝洋**さん
（ライフェル駒川）

ケアワーカー
**山口 勇馬**さん
（ライフェル駒川）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 出身 | 大阪府大阪市 | 京都府 | 大阪府大阪市 |
| 好きな食べ物 | お寿司 | お刺身 | ラーメン |
| 好きなこと・特技 | 寝ること | バドミントン | 水泳 |

AND MORE!

ナース
**森田 佐友美**さん
（ライフェル駒川）

サービス提供責任者
**村上 千明**さん
（ライフェル駒川）

※2月～3月末の入職者を紹介しています

## SNSも更新中！

浪速松楓会のいろいろな情報を、ゆるーく発信中！社内報では伝えきれない日常の様子や取り組みを紹介しています。気軽にのぞいて、気が向いたらイイネしてください♪

鯉谷さんの ひとりごと No.005

## 「よく分からないこと」とケア

コロナウィルス。僕たちの生活を一変させた。たくさんの人が亡くなり、街には人が居なくなった。さらに東京五輪の延期も決まった。大変なことだ。ただ、気になることがある。それは、僕たちの「よく分からないこと」への“態度”。「よく分からないこと」に直面した時、僕たちは「待つ」が難しい。様々な情報に脊髄反射的に反応し、なぜか生活用品の買い占めが始まる。いまや、ウィルス自体の被害だけでなく、僕たちのその「態度」による被害も甚大になっている。ネットの誕生によりこの傾向は加速しているように感じる。ネットでボタン1つで買い物やゲーム、SNSができる。生活の中で「待つ」ことが本当に少なくなり、「待つ」ことが苦手になった。この「待つ力」とは一体何だろうか。少し唐突に聞こえるかもしれないが、それは「ケア」だと思う。ケアの本質は、「待つ力」だと思っている。「時間をあげる」と言い換えても良い。自分にはよく分からない価値観や感情を持っている人に対して、すぐに判断せず「じっくり向き合う」。高齢者にも、同僚にも、自分にも。このあたりの話はまたみんなとじっくり話したいと思う。